



暮らしのデザイン

いまインテリアが変わる時



講演者

喜多俊之

デザイナー/JID理事長

1969年よりイタリアと日本でデザインの制作活動始める。イタリアやドイツ、日本のメーカーから家具、家電、ロボット、家庭日用品に至るまでのデザインで、多くのヒット製品を生む。作品の多くが世界のミュージアムにコレクションされている。また、日本各地の伝統工芸・地場産業の活性化、およびクリエイティブディレクターとして多方面で活躍。北京の中央美術学院客員教授、大阪芸術大学教授。2011年7月イタリア コンパッソ・ドーロ *carriera internazionale* 賞受賞

日常生活で、住まいのインテリアデザインが素敵になるということは、生活文化や産業経済全体にとって、とても大切な事です。人を家に招いて、家がサロンになるとインテリアはみるみる素敵になります。世界やアジアの国々は住宅インテリアを通して、人と人とのコミュニケーションを大切にしています。昔から、日本人の暮らしの中では「人を家に招く」と言う事は普通の生活の様子だったのです。それらが世界的なものづくりに繋がり「日常の暮らし」の活性化、それは内需拡大や生活文化、そしてそれぞれの産業の発展の土壌となります。

芸術文化講演会

日時 平成25年3月24日(日)
PM 2:00~4:00

場所 香川県高松市シンボルタワー内
— かがわ国際会議場 —

定員 200名

主催 日本インテリアデザイナー協会
(JID) 関西事業支部

お問合せ：井上雅子
携帯：090-4509-5441
E-mail：m-inoue@icsp.co.jp